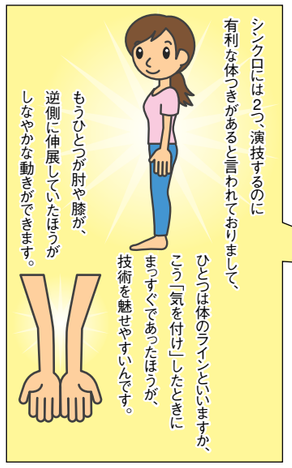
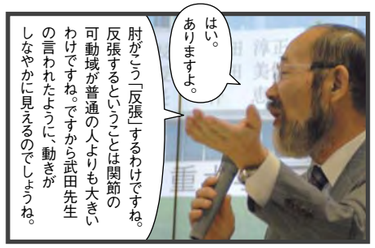
マンガで読もう! トークセッション

3月6日、新しくできた環境・情報科学館において内田淳正学長、朴恵淑理事・副学長、武田美保社会連携特任教授の3名により「スポーツ」をテーマにトークセッションが行われました。





＊登場人物紹介＊

内田淳正

徳島県出身。2005年、三重大学医学部附属病院長に就任し、2009年に現職である三重大学長に就任する。外科医時代の専門は骨軟部腫瘍、関節外科、生体材料。

武田美保

京都府出身。元シンクロナイズドスイミング選手。オリンピックでデュエットおよびチームにおいて、計5つのメダルを獲得し、2004年のアテネオリンピックの年を最後に現役引退。2011年、三重大学社会連携特任教授に就任。

朴 恵淑

韓国ソウル出身。2000年より三重大学人文学部教授。2011年4月1日より三重大学の国際および環境の担当理事・副学長となり、日本の国立大学において初めての外国人副学長となった。専門は環境地理学。

＊考えてみよう

水泳には脂肪が大切?

たとえば…

これは、丸太の比重が1.0より小さく、石ころの比重が1.0より大きいからです。

比重とは「大きさあたりの重さ」のことで、水は基準値の1.0で表されます。

脂肪の比重は一般的に0.9と言われています。

＊オリンピックでのシンクロ

シンクロナイズドスイミングの起源は、1900年頃ヨーロッパでショーの形で行われていた水中でのバレエからと言われています。日本選手団は1984年のロサンゼルス大会から現在に至るまでの全ての大会でメダルを獲得しています。オリンピックでは現在、8人で演技を行うチーム競技と2人で演技を行うデュエット競技の2種目で実施されています。

日本代表 オリンピックでの獲得メダル

1984 ロサンゼルスオリンピック
シンクロがオリンピック種目として正式採用
銅 ソロ　銅 デュエット

1988 ソウルオリンピック
銅 ソロ　銅 デュエット

1992 バルセロナオリンピック
銅 ソロ　銅 デュエット

1996 アトランタオリンピック
ソロ種目がなくなり、チーム種目が採用される
銅 チーム

2000 シドニーオリンピック
銀 チーム　銀 デュエット

2004 アテネオリンピック
銀 チーム　銀 デュエット

2008 北京オリンピック
銅 デュエット